



# 学校便り 琢磨

第37号 R2.12.18 (2学期最終号) 三豊市立詫間小学校

## なかよし集会有りました！

12月17日(木)。Zoomを使って「テレビ会議方式」でなかよし集会有りました。

新型コロナウイルス感染防止のため全校生での集会有りませんので、1回目のなかよし集会有り放送で行いました。しかし、できれば話している人の姿も見てもらいたいということで、今回はZoomを使った集会有りとしたのです。

まず、児童会役員さんの開会挨拶、次に、担当の岡根教諭からの話の後、各クラスの代表者が、学級の「なかよしめあて」の振り返りを発表してくれました。どのクラスも、しっかりと学級で振り返った結果を、堂々と発表していました。

その後、私のお話(裏面に話した内容を掲載)、最後に、児童会役員さんの閉会挨拶で、2回目のなかよし集会有り終わりました。



## 6年生の鼓笛の納会(引継ぎ式)がありました！

12月17日(木)。体育館で6年生の鼓笛の納会(引継ぎ式)がありました。6年生は、先日、運動場での発表会を終えたばかりですが、この日が、最後の鼓笛演奏となりました。



5年生全員が見守る中、6年生は、詫間小の最上級生として、立派な態度で素晴らしい演奏を披露してくれました。

新型コロナウイルスの感染拡大の中、鼓笛のバトンは、直ちに5年生へと引き継がれるということはないませんが、最上級生としての「心」の引継ぎ式は、確実にできました。

鼓笛につきましては、今後の状況を見ながら慎重に検討をしていきたいと考えております。

なお、裏面には、この式で私が6年生、5年生に話した内容を掲載しております。

## 新型コロナウイルス感染防止対策について

感染防止のため、教室の換気を徹底しております。暖房は、適切に使用しておりますが、座席の場所や体調等によって、授業中に寒さを感じる児童もいると思います。また、休み時間には、窓を全開して換気を行いますので、室内といえども、かなり気温が下がってしまいます。

そこで、昨日(17日)から、授業中等の室内での防寒着(長ズボンも含む)の着用を認め、児童にも周知しました。なお、手袋は、室内では着用しません。ネックウォーマーは、登下校時のみ着用可です。また、防寒着は、着用しない時は必ずロッカーにしまうということも児童に伝えております。

室内での防寒着の着用は、三豊市の校長会でも話し合わせ、本校より先に実施している学校も複数校ありましたので、本校もこのような措置をとらせていただきました。

※ 今回の学校便りが、2学期最終号となります。2学期間、お読みくださりありがとうございました。「ご意見・ご感想」(別紙)もぜひ、お願いいたします。

**【なかよし集会での話】**

各クラスの代表の人が、学級の「なかよしめあて」の振り返りを発表してくれました。どのクラスも、しっかりと目標を立てて、その目標に向かってがんばっていることが伝わってきて、とても嬉しく思います。

人というものは、目が向いている方、見ている方に進んで行きます。だから、「目当て」や「目指す」という言葉は、「目」という漢字が使われます。行きたい方向、なりたい自分やクラスをしっかりと持っていることで、そこに向かって必ず進んで行きます。クラスの目当てなら、一人ではなくて、みんなで協力し、支え合い、励まし合いながら進んで行くことができます。まだ、今年度は終わっていません。3月まで、クラスの目指すゴールに向かって進んでほしいと願っています。

さて、今日は「思いやり」ということについてお話します。ずいぶん前の事ですが、「思いやり」という言葉は、「思ってる」みたいに上から目線（相手を下に見ている）だということで、あまり学校では使われなくなった時期がありました。代わりに「思い合う」という言葉が使われたのです。しかし、「思いやり」とは、「思ってる」のではなく「自分の思い（心）を相手の思い（心）にやる（移す）」ということだという考えで、再び使われるようになりました。分かりやすく言うとうりということですよ。

皆さんには「思い（心）」がありますね。同じように周りにも「思い（心）」がありますね。思いやりとは、自分の「思い（心）」を、相手の「思い（心）」にワープすることなのです。例えば、何か失敗をしたお友達がいたとします。その人の心に、自分の心をワープしてみましょう。詫間小学校の皆さんは、全員、自分の心を、友達の心にワープする力をもっていますよ。そうすると、「今、しまったと思っているだろうなあ。」とか、「みんなにバカにされるかも知れないと悲しくなっているだろうなあ。」とすることができます。そう思うと、その失敗を責めたり、バカにしたり、笑ったりは決してしないはずですよ。

詫間小学校の皆さん。自分の「思い（心）」を、相手の「思い（心）」にワープする力を、もっともっと発揮して、おもいやりの心であふれる学校にしていきましょう。

この会をしてくれた児童会の皆さん、代表で発表してくれた皆さん、ありがとうございました。これで、校長先生のお話を終わります。

**【6年生の鼓笛の納会（引継ぎ式）での話】**

6年生の皆さん。今日は、感染を防止するため、窓を開けてこの会を行いましたので、とても寒かったと思います。窓を全開するようお願いしたのは校長先生です。そんな中でも、大変立派な演奏をありがとうございました。演奏だけではありません。態度も、最上級生にふさわしい立派なものでした。そこから、立派に成長した「心」も見えてきました。今日で6年生の皆さんの鼓笛については、その全てを納める（おしまいする）ということになります。納める会のことを「納会」と言います。これまで、本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

そして5年生の皆さん。寒い中、大変立派な態度で、6年生の最後の鼓笛演奏を聞いてくれました。ありがとうございました。6年生は、後3か月で卒業していきますが、5年生の皆さんなら、今の6年生に負けにくい立派な最上級生になると校長先生は、今日、確信しました。

さて、例年ですと6年生の皆さんが5年生の皆さんに、それぞれのパートを教えて引継ぎを行うのですが、新型コロナウイルスの感染が広がっているため、今は、楽器を決めたり、練習したりすることができません。また、この後、感染状況がどうなるのか、来年度の運動会はできるのか、他の行事はできるのかなど、全く分からない状態です。ですから、6年生からの鼓笛のバトンは、一旦、先生方を代表して校長先生が受け取ります。そして、状況を見ながら、今後どうするのかを決めていきます。その時期が、6年生が、卒業する前なのか、卒業した後なのかは分かりません。ですから、鼓笛のバトンは、一旦校長先生が受け取っておきます。今日は、6年生が鼓笛の演奏を納める日、そして、最上級生としての「心」を5年生が引き継ぐ日だと考えてください。

6年生、5年生の皆さん。今日は、とても立派でした。さすがです。誇りに思います。これで、校長先生のお話を終わります。（私は、6年生、5年生の態度を見て、涙ぐんでしまいました。）